

# 平成29年（2017）6月 入域観光客数概況

6月の観光客数は、79万8,800人  
対前年（H28）同月比 +8万4,400人、+11.8%  
～6月の過去最高更新、各月の過去最高を44ヶ月連続更新～

## 入域状況

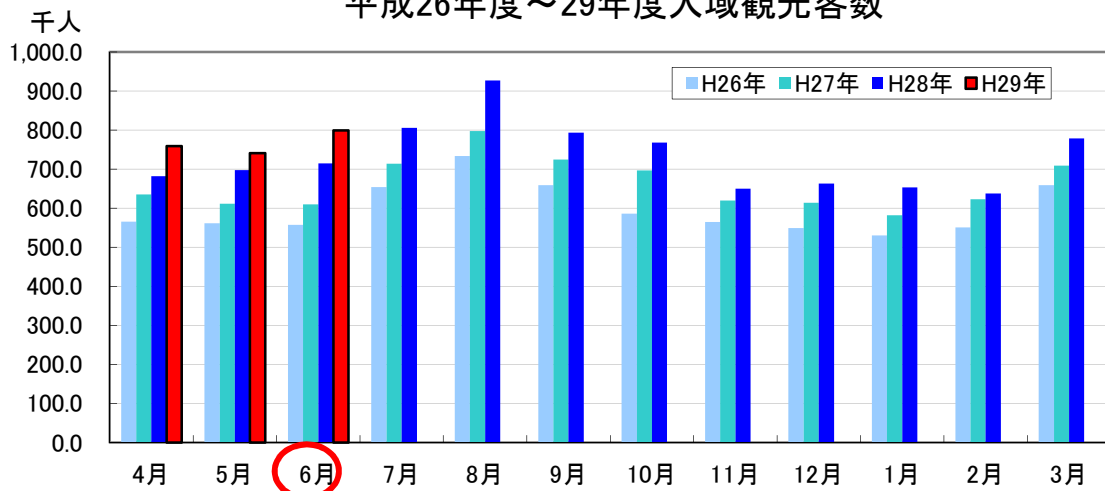
入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	537,300 人	498,500 人	+ 38,800人	+ 7.8%	67.3%
外国客	261,500 人	215,900 人	+ 45,600人	+ 21.1%	32.7%
合計	798,800 人	714,400 人	+ 84,400人	+ 11.8%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成28年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
国内客	537,300 人	498,500 人	+ 38,800人	+ 7.8%	70.5%
外国客	225,200 人	185,600 人	+ 39,600人	+ 21.3%	29.5%
合計	762,500 人	684,100 人	+ 78,400人	+ 11.5%	100.0%

平成26年度～29年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

6月は、各旅行会社や航空会社による販売取組の強化により、各方面とも販売状況が良好であったことや、ANA名古屋－宮古直便の新規就航など航空路線の拡充があったこと等により、前年を上回った。

7月以降は、夏休み需要が高まる8月を中心に各旅行会社による商品の予約状況が良好なことや、引き続き前年同月と比べて航空路線の拡充があること等から好調に推移する見込み。

## 外国客 入域状況

6月は、高雄－那覇路線の増便を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

7月は、台北・高雄－那覇路線の増便計画や、引き続きクルーズ船の寄港回数が増加予定であることに加え、本格的な夏休みシーズンによる旅行需要の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

## 国内客 地域別入域状況

区分	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	251,600 人	238,600 人	+ 13,000人	+ 5.4%	46.8%
関西方面	118,600 人	111,300 人	+ 7,300人	+ 6.6%	22.1%
福岡方面	69,600 人	61,200 人	+ 8,400人	+ 13.7%	13.0%
名古屋	45,600 人	41,800 人	+ 3,800人	+ 9.1%	8.5%
その他	51,900 人	45,600 人	+ 6,300人	+ 13.8%	9.7%
合計	537,300 人	498,500 人	+ 38,800人	+ 7.8%	100.0%

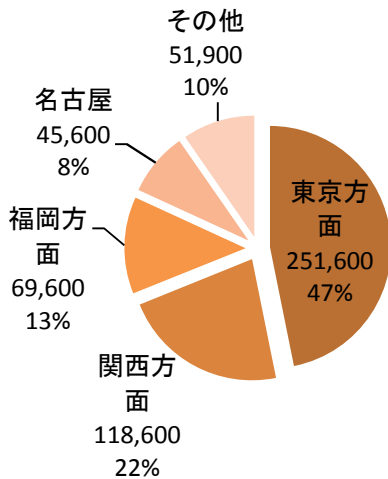
※国内海路客7,900人を含む(神戸4,300人、鹿児島2,400人、その他1,200人)

## 外国客 国籍別入域状況

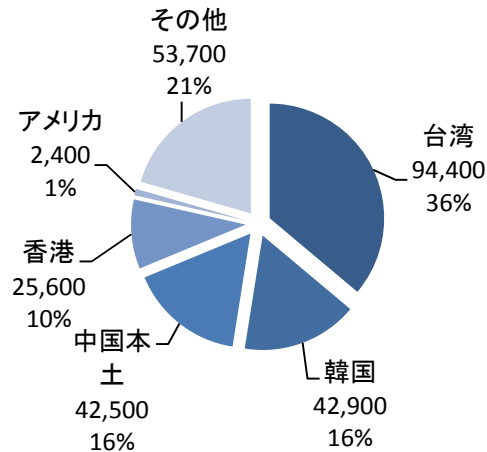
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H29年度	H29年度	H28年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	94,400 人	94,400 人	66,900 人	+ 27,500人	+41.1%	36.1%
韓国	42,900 人	42,900 人	33,800 人	+ 9,100人	+26.9%	16.4%
中国本土	42,500 人	42,500 人	49,500 人	△ 7,000人	△14.1%	16.3%
香港	25,600 人	25,600 人	24,400 人	+ 1,200人	+4.9%	9.8%
アメリカ	2,400 人	2,400 人	2,000 人	+ 400人	+20.0%	0.9%
その他	53,700 人	17,400 人	39,300 人	+ 14,400人	+36.6%	20.5%
合計	261,500 人	225,200 人	215,900 人	+ 45,600人	+21.1%	100.0%

### 国内客の地域構成比



### 外国客の国籍構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	55,900 人	55,900 人	+19.2%	36.3%	38,500 人	38,500 人	+92.5%	35.8%
韓国	42,700 人	42,700 人	+27.5%	27.7%	200 人	200 人	△33.3%	0.2%
中国本土	23,400 人	23,400 人	△8.2%	15.2%	19,100 人	19,100 人	△20.4%	17.8%
香港	22,000 人	22,000 人	+17.0%	14.3%	3,600 人	3,600 人	△35.7%	3.3%
アメリカ	2,200 人	2,200 人	+37.5%	1.4%	200 人	200 人	△50.0%	0.2%
その他	7,700 人	7,600 人	+26.2%	5.0%	46,000 人	9,800 人	+38.6%	42.8%
合計	153,900 人	153,800 人	+16.2%	100.0%	107,600 人	71,400 人	+28.9%	100.0%

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

6月は、航空会社の先行割引航空券などの販売が良好なことで輸送実績が増加したことに加え、旅行会社の販売実績が良好なこと等から、前年を上回った。

7月以降は、夏休みシーズンの8月を中心に、航空会社や旅行会社で前年を上回る予約状況があることや、航空会社の深夜便運航を含む航空路線の拡充等から、好調に推移する見込み。

### 大阪

6月は、スカイマークの増便により輸送実績が増加したことや、旅行会社や航空会社の販売状況が概ね良好であったこと等から、前年を上回った。

7月以降は、夏休みシーズンにおいて航空会社の予約状況が前年並みにあることや、週末を中心に一般団体からの予約が多く見られること等から、好調に推移する見込み。

### 福岡

6月は、JTAが提供座席数を増加させ、輸送実績も良好であったことや、旅行会社の団体旅行の取扱いが良好なこと等から、前年を上回った。

7月は、スターフライヤー北九州－那覇の新規就航があることや、航空会社や旅行会社の予約状況が良好なこと等から好調に推移する見込み。

### 名古屋

6月は、ANA名古屋－宮古直行便の新規就航があり、同便を取り扱う旅行商品の販売が良好であったことや、一般団体旅行の取扱が良好であったこと等から前年を上回った。

7月は、スカイマークで深夜フライトが就航することや、家族旅行商品の販売が良好なこと等から好調に推移する見込み。

### 台湾

6月は、航空路線の増便等により空路観光客が増加し、クルーズの寄港回数も増加したことで海路観光客数についても増加し、前年を上回った。

7月は、台北・高雄－那覇路線の増便計画や、クルーズ船の寄港回数の増加が見込まれること等により好調に推移する見込み。

### 韓国

6月は、中国から日本に旅行者がシフトしている傾向が見られることや、夏休み前の旅行商品の販売が良好なこと等から、前年を上回った。

7月は、夏休み前の旅行商品の取扱が増加していることに加え、本格的な夏休みシーズンによる旅行需要の増加が見込まれること等から、好調に推移する見込み。

### 中国本土・北京

6月は、韓国への旅行商品販売禁止による日本へのシフトがあったが、日本国内他地域との競合等により空路客が対前年で減少したこと等から、前年を下回った。

7月は、航空会社の予約状況が良好なことや、夏休みシーズンがスタートし旅行需要が見込めること等から、堅調に推移する見込み。

### 中国本土・上海

6月は、韓国への旅行商品販売禁止による日本へのシフトがあったが、国内他地域との競合やクルーズ船の寄港回数が対前年で減少したこと等から、前年を下回った。

7月は、航空会社の予約状況が良好なことや、夏休みシーズンがスタートし旅行需要が見込めること等から、堅調に推移する見込み。

### 香港

6月は、航空路線の増便に加え、ゲンティンドリーム号による那覇と宮古島への寄港等から、前年を上回った。

7月は、クルーズ船の寄港回数の増加に加え、夏休みシーズンがスタートし旅行需要が見込めること等から堅調に推移する見込み。